

竹取物語 冒頭

◎（ ）には、現代仮名遣いを書こう。

◎――線部の右側に現代語訳を書こう。

◎この冒頭部分を繰り返し音読し、暗唱できるようにしよう。

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山に

分け入って

まじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。

使っていた

名をば、さぬきの造となむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。

根もと

あやしがりて寄りて見るに、筒の中光りたり。

それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつく

しうて あたり。